

日比谷花壇 フラワーグラフィックサービスから 「2024年SS新作フラワーパターン」を発表

テーマは『The joy of growing～育てる喜び～』

6月28日(水)から「第13回 ライセンシング ジャパン」に出展

株式会社日比谷花壇(本社:東京都港区、代表取締役社長:宮嶋浩彰)は、四季折々の花や緑の良さを存分に引き出した、花屋だからこそできるフラワーグラフィックサービス「花屋さんのお花柄」で、「2024年SS新作フラワーパターン」(※)を2023年5月12日(金)に発表し、文具、雑貨など様々な業界の企業に向けて提案します。

■「2024年SS新作フラワーパターン」詳細:<https://hk-business.biz/lib/pdf/documents/HIBIYAFLOWERPATTERN-2024ss.pdf>

「2024年SS新作フラワーパターン」は、『The joy of growing～育てる喜び～』をテーマに、今芽吹くこの芽が未来の美しい景色を育てていく様子を花柄によって表現しています。かつてないスピードで変わり続ける世の中で、見えない未来に不安になることよりも、今、この瞬間の生きる喜びを、このフラワーグラフィックによる“花とみどり”を感じていただきたいと考えます。

今回は、見上げた先にある満開の桜が明るい未来を予感させる、桜をたっぷりデザインしたシリーズ「SAKURA sky」から3パターン、庭の花壇に咲きあふれる花々に春の訪れと生命力を感じさせる、ランタンキュラスやパンジー、タンポポ、ルピナス等の構成でデザインしたシリーズ「Blooming garden」から3パターンの、計2シリーズ6パターンを発表します。

来年のデザイントレンドに沿ったカラーで、花や緑の魅力を知り尽くすプロのフローリストが描く、生命力あふれるフラワーグラフィックとなっています。イラストレーションタイプとフォトタイプのご用意があり、ご利用いただく商品やサービスに相応しいパターンをお選びいただけます。

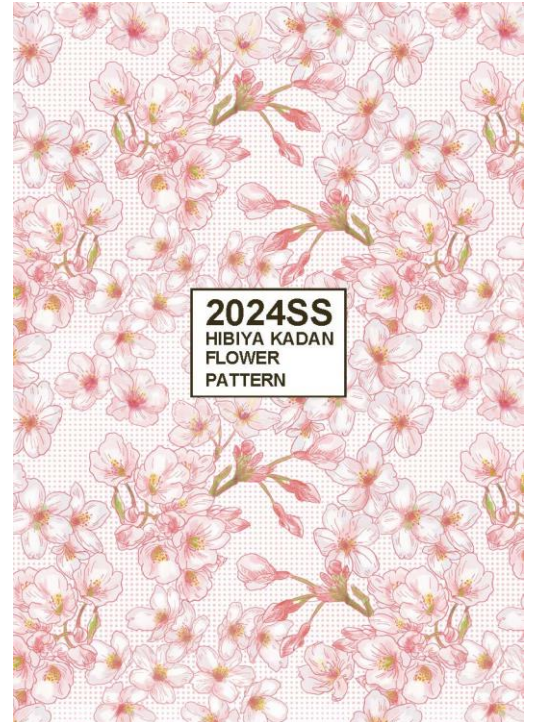
日比谷花壇 フラワーグラフィックサービス「花屋さんのお花柄」について:<https://www.hk-business.biz/flowerpattern/>

当社は、これまでも長年のノウハウをもとに、企画、コンセプトメイキング、販売などの総合的なプロデュースを手がける、フラワーグラフィックサービスを提供しています。「花屋さんのお花柄」では、多くの企業向けにオリジナルのフラワーデザインをゼロから制作し、広告やパッケージ、商品に採用していただき、これまでに多数のアパレル商品や雑貨が誕生しています。2023年AWに引き続き、シーズンごとに新作を発表しており、フラワーパターンがあしらわれた商品によって身近に花や緑を感じていただき、人々の生活を彩ることができればとご提案しています。数多くの高品質のフラワーフォトストックからお選びいただける画像はもとより、企業や商品のイメージに叶う、オリジナルフラワーデザインの監修とオリジナルフラワーデザインによる商品化まで、それぞれのニーズに応じたサービスを展開しています。

(※)「2024年SS新作フラワーパターン」のメイン柄3種は、「第13回 ライセンシング ジャパン」の当社出展ブースにて、「HIBIYA KADAN Botanical SERIES」の第3弾と合わせて発表予定です。

株式会社日比谷花壇について:<https://www.hibiya.co.jp/>

1872年創業、1950年に東京・日比谷公園店の出店後、株式会社日比谷花壇を設立。現在、全国に約190店舗を展開。ウエディング装花、店舗及びオンラインショップでの個人/法人向けフラワーギフト、カジュアルフラワーの販売、お葬式サービス、緑を通じた暮らしの景観プロデュース、フラワーグラフィックサービス等を行っています。今後も花や緑の販売、装飾にとどまらず、暮らしの明日を彩り、豊かなものへと変えていく提案を続けていきます。



別紙

<コンテンツ東京 2023(CONTENT TOKYO 2023)「第 13 回 ライセンシング ジャパン」 出展概要>

【会期】2023 年 6 月 28 日(水)～6 月 30 日(金)10:00～17:00

【会場】東京ビッグサイト

【小間番号】7-9

【内容】様々な企業とこれまでにコラボレーションした商品や花柄の展示をはじめ、当社のフラワーグラフィックサービス概要をご紹介します。「2024 年 SS 新作フラワーパターン」のメイン柄 3 種は、「第 13 回 ライセンシング ジャパン」の当社出展ブースにて、「HIBIYA KADAN Botanical SERIES」の第 3 弾と合わせて発表予定です。

「第 13 回 ライセンシング ジャパン」公式サイト:<https://www.content-tokyo.jp/>

以上